

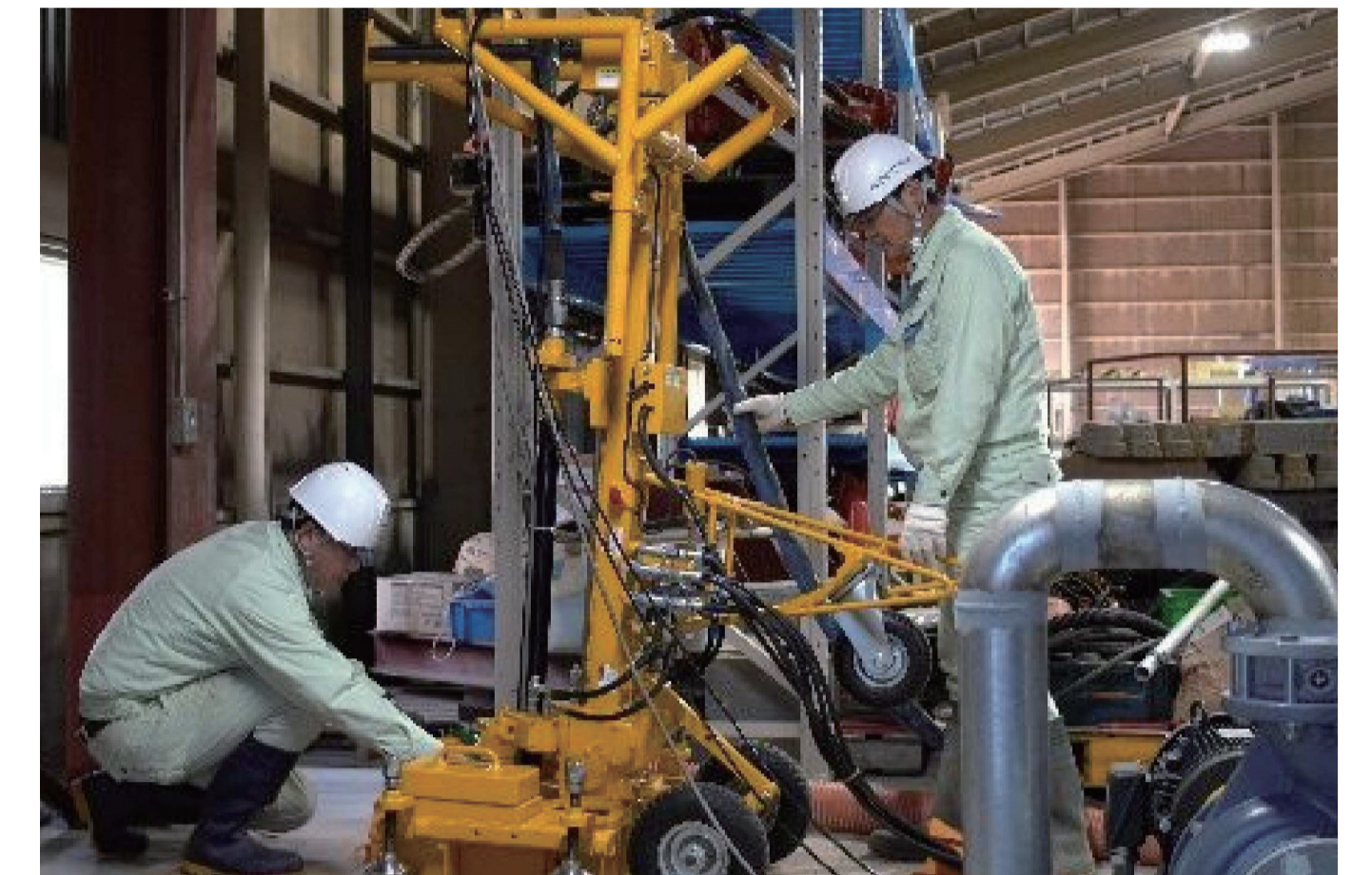
Mole-Eco Jet工法

自転式環境負荷低減型高圧噴射攪拌工法

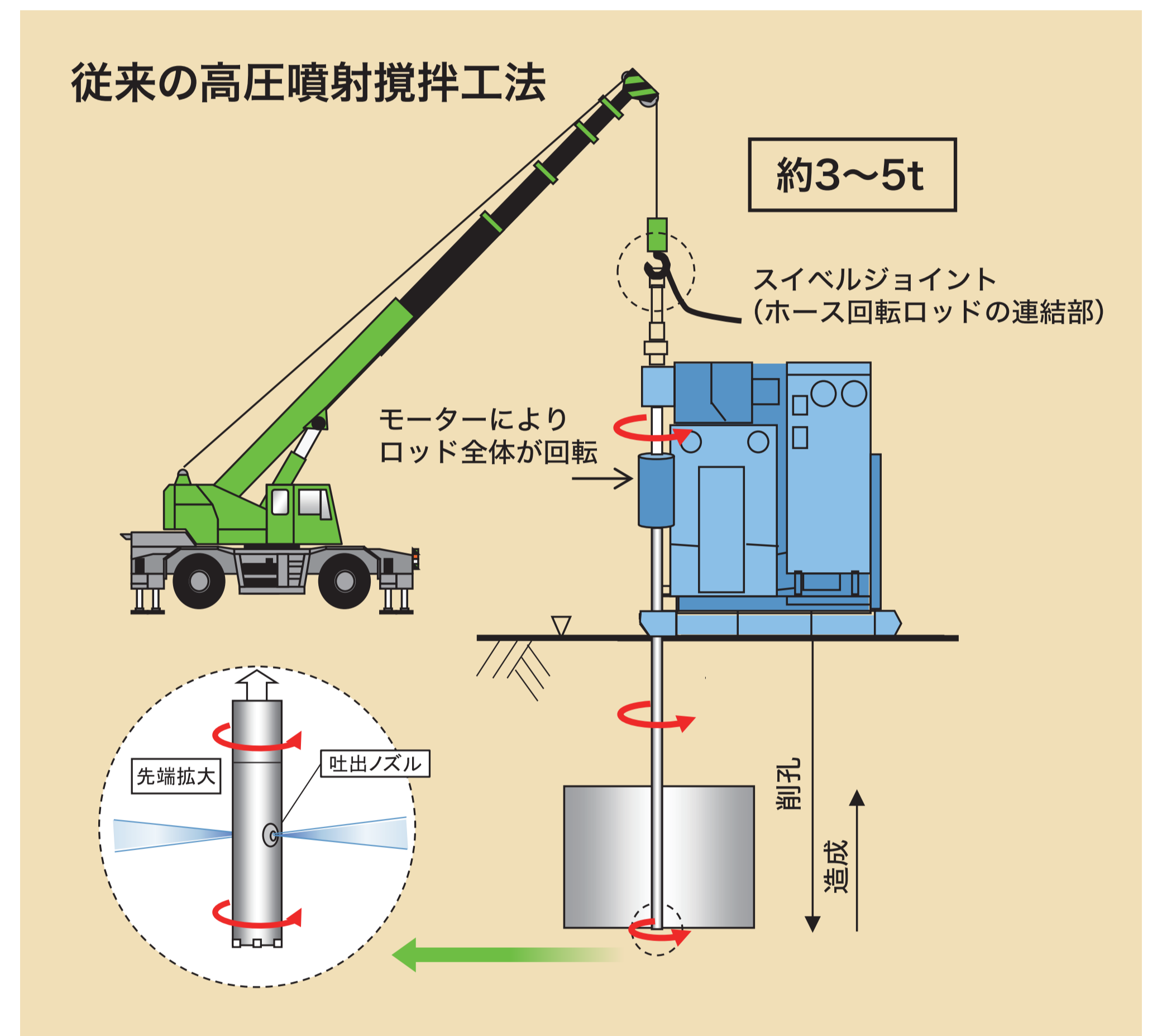
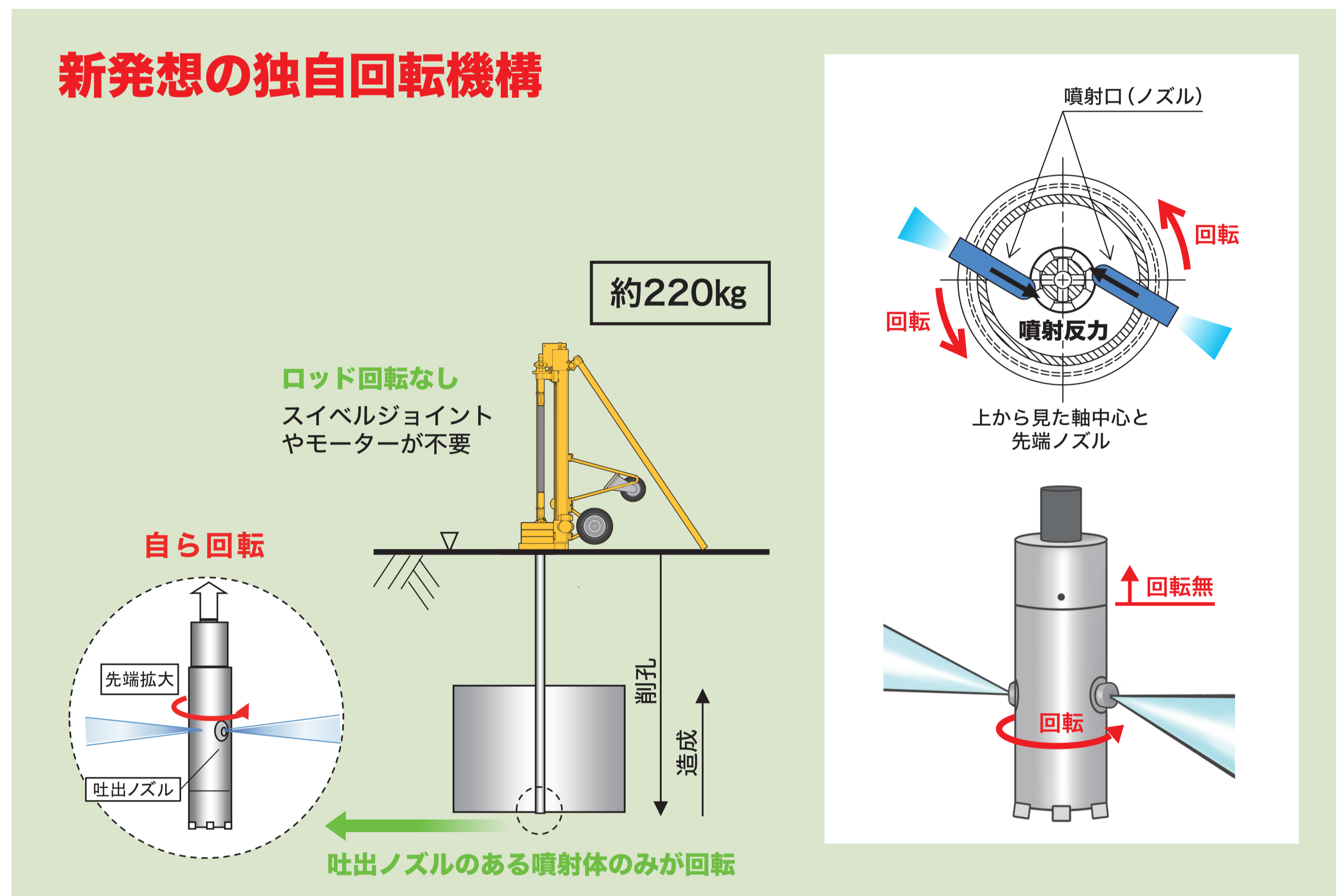
モール エコ ジェット
Mole-Eco Jet工法は、新発想の回転機構で環境負荷を大きく低減します。

新発想の独自回転機構の実装により、人が運搬して施工ができるサイズまで、施工機械を小型軽量化することが可能となった高圧噴射攪拌工法です。同一直線上にない噴射口(ノズル)から噴射した流体エネルギーの反力により先端のみが自ら回転する機構です。

従来工法のような回転駆動用のモーターが不要となり施工機械の大幅な小型軽量化が実現しました。



■新発想の回転機構



特長

■人力運搬可能な施工機械

建物やパイプラインの間等の狭い場所や建屋の内部などでも、人力で運搬して施工することができます。

■高さ制限下での施工 (2.1m程度の高さ制限下でも施工可能)

建屋内など高さ制限のある施工条件でも、クレーンを使用することなく1mロッドを継ぎ足すことで施工ができます。

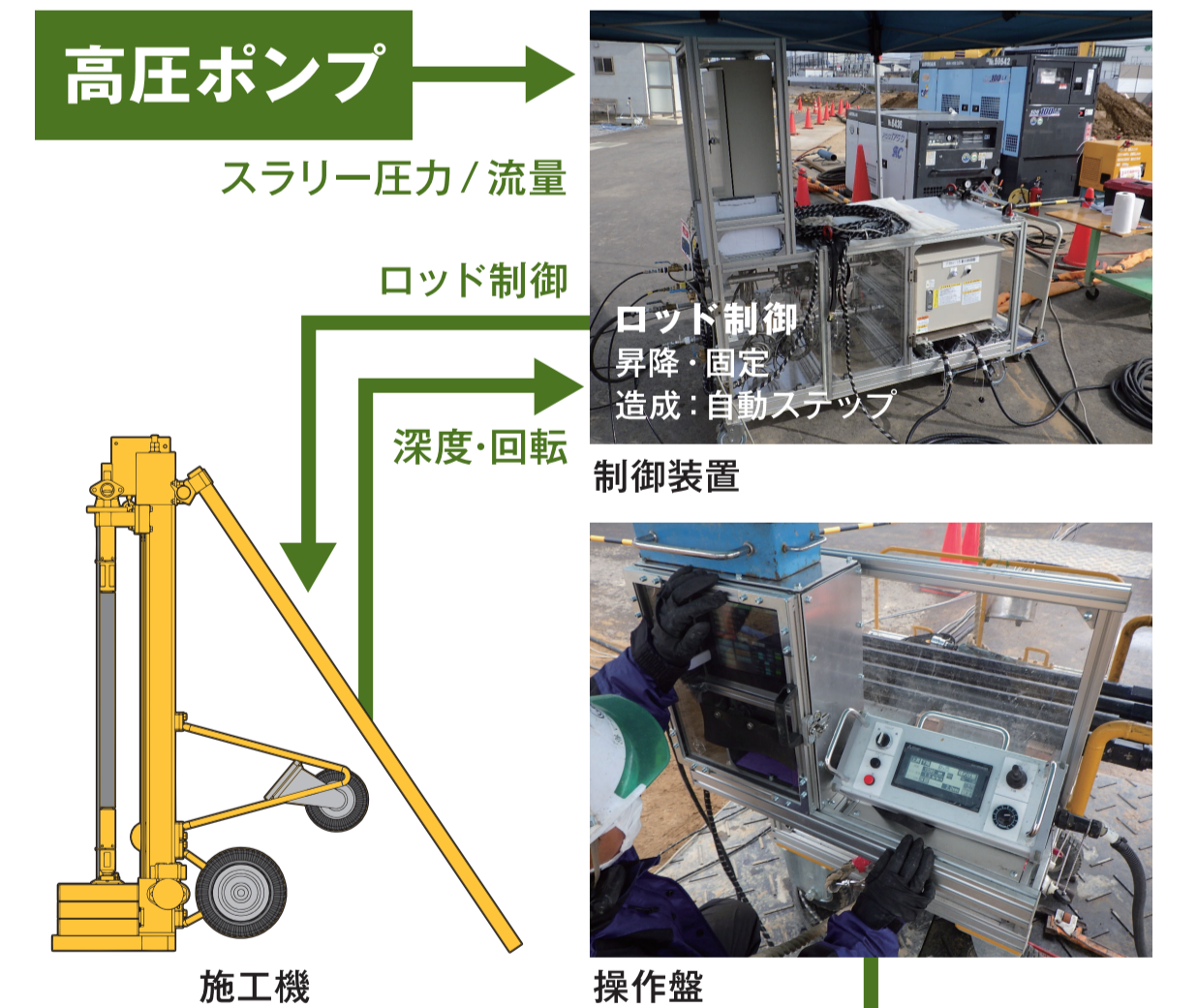
■環境負荷低減 (SDGs)

施工機の周囲にはクレーンや発電機などの機器を配置しないため、排ガスの発生のないクリーンな環境で施工ができます。施工機の省エネ化によって、二酸化炭素の排出量は従来工法に比べ30%削減しました。(当社従来工法との比較、排泥処理を含まず)

■施工管理装置 (施工の見える化・情報化)

新型施工管理装置により施工情報を確認しながら操作を行い、打設結果をデジタル情報として記録します。回転数や引抜造成時のステップアップは、自動で制御します。

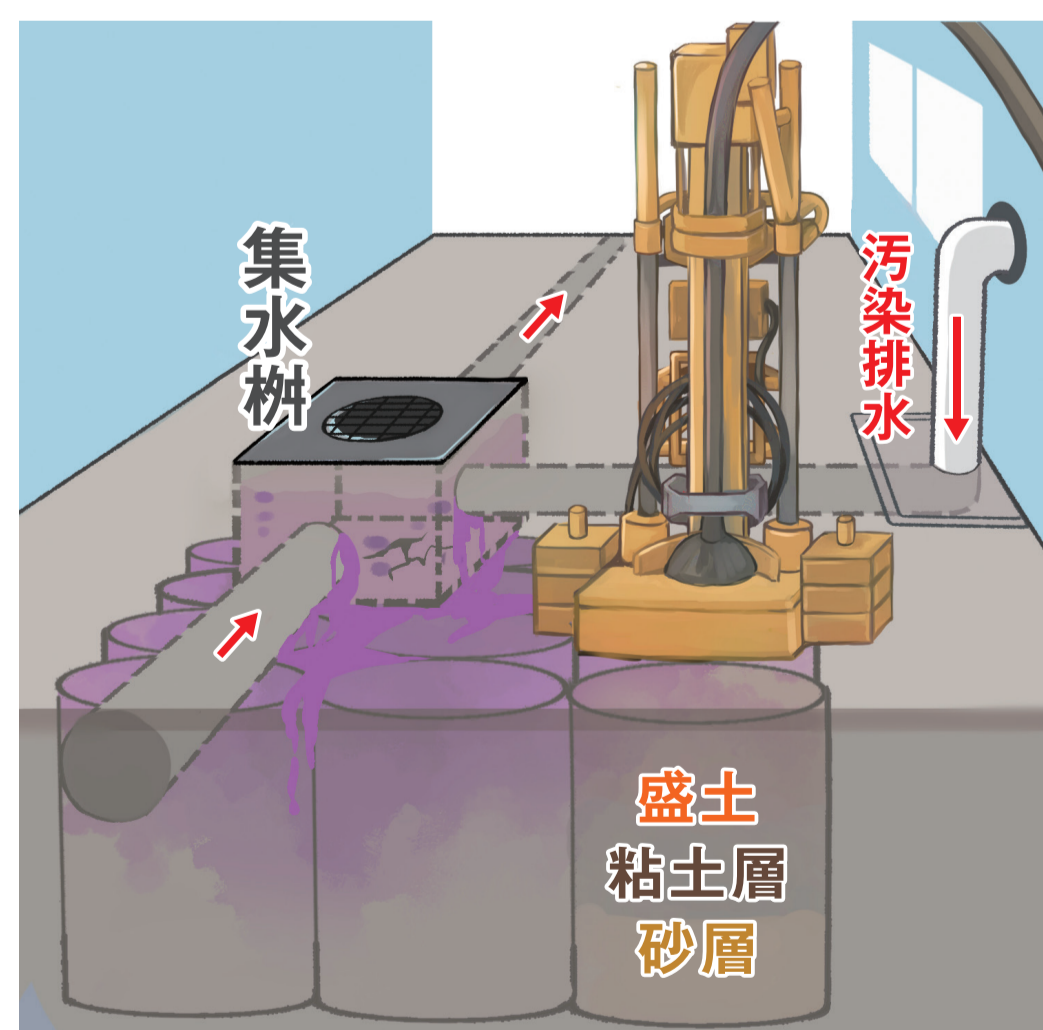
■新型施工管理装置 モニタ画面



■施工機械の人力運搬



■小型軽量化を生かした適用例 工場敷地内の汚染土壌対策



■小型軽量化された施工機械

